

今後も研究と臨床の双方から高齢者支援に貢献できるよう、より一層努力してまいります。

最後になりましたが、本研究にご支援くださいました皆さま、ならびに学会関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

## 支部学術集会開催報告

### 第22回福岡県支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構福岡東医療センター  
副院長 高田昇平

2026年2月28日(土)に国立病院機構福岡東医療センターにて日本医療マネジメント学会第22回福岡県支部学術集会を開催いたしました。シンポジウムは「医療DXと医療経営」のテーマで4名の演者からそれぞれの立場で発表いただき活発な討議ができました。一般演題は医療連携や医療安全、チーム医療などを中心に40題の発表があり、合計119名の参加をいただきました。ランチョンセミナーで佐賀大学病院の野多加志先生に「次なる新興感染症のパンデミックは起こりえるのか？～肺炎も含めて～」と題し講演いただきました。スイーツセミナーでは当院の経験を踏まえ、「在宅ハイフローセラピー導入における地域医療連携」についての話題提供が行われました。当分野における問題提起を行ったり相互理解を深めることができ、盛会裡に終えることができました。開催にあたり多大なご支援とご協力を賜りました関係者の皆様へ厚く御礼申し上げます。



会場風景

## 分科会開催案内

### 2026年度医療安全分科会(Web開催)

テーマ：2026年の義務化を踏まえ、

これからの医療安全管理者に必要な力

2026年4月より医療安全管理者の配置義務化が進む中、医療機関には、これまで以上に組織的な医療安全体制の構築が求められている。近年の医療安全は、事故対応やインシデント分析だけでなく、安全文化の醸成、心理的安全性の確保、多職種による情報共有、DX活用、Second Victim支援など、より包括的な取り組みへと広がっている。

本分科会では、医療安全を取り巻く最新動向や海外のPatient Safetyの考え方を踏まえ、組織統括、記録整備、スタッフ支援、多職種連携など、これからの医療安全管理者に必要な視点と実践力について議論し、今後の医療安全活動につなげることを目的とする。

なお、本プログラムをすべて受講された方に参加証明書を発行します。定員が限られておりますので、ぜひお早めに申込みをお願い申し上げます。

・日時 2027年1月30日(土) 8:30～16:00

・場所 Web開催(Zoomを利用)

・プログラム

8:30 受付開始

9:00～9:10 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

9:10～10:00

基調講演 医療安全施策の動向

厚生労働省医政局医療経営改革課 医療安全推進・

医務指導室 医療安全対策専門官 香取 美佐子

10:00～11:00

講演1 医療事事故例の収集・分析から情報提供へ

公益財団法人日本医療機能評価機構

医療事故防止事業部部長 坂口美佐

11:00～12:00

講演2 医療安全管理者配置義務化に伴う組織統括とリー

ダーシップのあり方～管理者研修企画から～

公益財団法人日本医療機能評価機構

教育研修事業部部長 遠田光子

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00

講演3 記録を活かして安全文化と医療の質を育てる

ー安全活動と医療記録の整備・活用の実際ー

地方独立行政法人長野市民病院副院長 兼 看護部長

下谷 由紀子

14:00～15:00

講演4 医療安全とスタッフのモチベーションを支える

組織風土とはー海外と日本の事例からー

シビリンクプロジェクトリーダー/

国際EAP協会日本支部理事 下田 彬

15:00～16:00

総括 これからの医療安全管理者に必要な力

三重大学医学部附属病院医療安全管理部教授 兼児敏浩

16:00 閉会

日本医療マネジメント学会医療安全委員会

委員長 坂本すが

《募集要項》

○会 費 5,000円(但し、学会非会員10,000円)

○定 員 100名(定員を満たし次第締め切らせて頂きますので、お早めにお申込み下さい)